

福祉住宅建築助成金給付申請書

年 月 日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団
理事長 土屋 公 三 殿

(ふりがな)
申請者氏名



住 所 〒

電 話 番 号

1. 施工業者

設計 事務所名 (ふりがな) 担当者名
住所 〒 電話番号

施工 会社名 (ふりがな) 担当者名
住所 〒 電話番号

※ 今回の建築で特に相談した方がおられましたら下記の記号に○印をつけて下さい

- a. 市町村の建築相談窓口 b. 高齢者、障がい者等相談窓口 c. その他の相談窓口 ()
- d. 医師 e. 看護師 f. 保健師 g. ソーシャルワーカー h. 理学療法士 i. 作業療法士
- j. ケアマネージャー k. ホームヘルパー l. 福祉住環境コーディネーター m. インテリアコーディネーター
- n. 福祉用具プランナー o. 義肢装具士 p. その他 ()

2. 申請書と一緒に提出していただく書類

1. 確認申請書写し (あれば) 2. 見積書写し
3. 建築図面 (配置図 平面図 立面図 展開図)
4. 建物写真 (施工した建物・施工部分や箇所・導入した機器等)
5. リフォーム前の図面と写真 (施工前と施工後の部分や箇所の写真等)

建物概要 (確認申請書写しがあれば不要) (○でかこむ)

所在地		用途地域	
工事種別	新築 リフォーム	構造	木造 S造 RC造 ブロック造
階数	地上 階 地下 階	用途	専用住宅 併用住宅 ()

面積表 (確認申請書写しがあれば不要)

敷地面積	m ²	坪	建築面積	m ²	坪
地階床面積	m ²	坪	1階床面積	m ²	坪
2階床面積	m ²	坪	3階床面積	m ²	坪
階床面積	m ²	坪	延床面積	m ²	坪

9) 住む人の社会性に配慮したことは

例 ・隣近所とのコミュニケーションの場になるよう庭づくりに工夫した
 ・デイサービスの車や緊急時の車が入りやすいようアプローチを配慮した 等

.....

.....

.....

.....

10) 福祉機器や用具の利用は

例 ・ホームエレベーター ・段差解消機 ・車いす ・ギャッジベット ・ポータブルトイレ
 ・つえ ・医療機器 等

.....

.....

.....

.....

11) 現在住んでみていかがですか

・良かったこと

.....

.....

.....

.....

・工夫をすれば良かったこと

.....

.....

.....

.....

・これから建築する方へのアドバイス

.....

.....

.....

.....

1) 身体状態と日常生活動作について該当があれば○で囲んでください(さしさわりのない範囲で)

身体障がい	1. なし 2. あり	あるときの障がい名 ()	障がい者手帳 有 無	あるときの障がい等級	級
			介護保険の適用 有 無	あるときの段階	度
			視覚や聴覚の障がい ()		
移動動作	寝た姿勢からの起き上がり	1. 何も使わずに一人で行える 2. 道具を使えば一人で行える 3. 介助が必要			
	いすなどに座っている	1. 数分間でも一人で座っていただける 2. 背もたれがあれば一人で座っていただける 3. 座っていただけない			
	いすなどから立つ	1. 杖などを使わずに立つことができる 2. 杖を使ったりつかまる所があれば立てる 3. 介助が必要 4. 立つことができない			
	歩行する	1. 一人で歩ける 2. 一人で歩けるが、危険がないか見守る必要がある 3. 介助が必要 4. 歩行はできない			
	手すりの使用	1. あり 2. なし			
	杖や歩行器の使用	1. あり 種類 () 2. なし			
	階段を上がる	1. 一人で上がる 2. 一人で上がるが、危険がないか見守る必要がある 3. 介助が必要 4. 階段歩行はできない			
	車いすの使用	1. 野外を自力で走行できる 2. 室内だけなら自力で走行できる 3. 移動には介助が必要			
	台などへの乗り移り動作	1. 一人でできる 2. できない			
	その他の移動方法	1. はって移動 2. 座り姿勢のまま移動 3. 仰向けのまま移動 4. その他 ()			
排泄動作	小便	1. 一人でできる	2. ある程度の介助が必要	3. 全介助	
	大便	1. 一人でできる	2. ある程度の介助が必要	3. 全介助	
入浴動作		1. 一人でできる	2. ある程度の介助が必要	3. 全介助	
更衣動作		1. 一人でできる	2. ある程度の介助が必要	3. 全介助	
食事動作		1. 一人でできる	2. ある程度の介助が必要	3. 全介助	
調理動作		1. 一人でできる	2. ある程度の介助が必要	3. 全介助	

2) 同居の家族について(さしさわりのない範囲で)※氏名はイニシャルや愛称でも可

氏名	年齢	性別	続柄	職業	健康状態・日々の暮らし方など

3) 今回の建築(新築・リフォーム)をすることになったきっかけは

例 ・家族が病で倒れ(病名)、後遺症がある為現在の住まいでは介護が困難なので建替をした ・定年退職となり、夫婦二人がいつまでも安全で快適に暮らせるようにと新築した ・別居していた親が高齢となり、同居するためにリフォームした 等

.....

.....

.....

.....

4) 建築費用について高齢者、障がい者の為の融資制度を利用しましたか

融資の種類	金額	約	円
-------	----	---	---

5) 今回の建築で最も心をくだいたことは

例 ・体の不自由な主人が安全に移動できる事 ・老後いつまでも自立して、生きがいをもって暮らせるように ・介護や家事がしやすいように 等

.....

.....

.....

.....

6) 敷地の状態について

例 ・静かな住宅地、庭を広く取れるが、道路より1mくらい高くなっている ・住宅密集地で3階建てだと日当たりが良くない 敷地も狭く道路は車が多い 等

.....

.....

.....

.....

7) 住まいの中の安全性に配慮したことは

例 ・床の段差をなくした ・台所をクッキングヒーターにした ・建具を引戸とした
・照明を工夫した ・必要な所に手スリを付けた ・緊急通報設備を設置した 等

.....

.....

.....

.....

8) 暮らしの快適性に配慮したことは

例 ・セントラル暖房とした ・全室換気にした ・家族がコミュニケーションをとりやすい間取りにした
・炊事や洗濯など家事労働がしやすい機器を導入した ・道路から玄関まで除排雪の工夫をした 等

.....

.....

.....

.....

①

写真添付
(L判)

②

写真添付
(L判)

③

写真添付
(L判)

①

写真添付
(L判)

②

写真添付
(L判)

③

写真添付
(L判)
